

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	新見職員公舎		所在地	新見市高尾2288-2ほか			
敷地面積	1,412.66 m ²		棟数	4 棟 (計画記載対象 4 棟)			
延床面積	563.39 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※職員宿舎は全て対象			
設置目的	公務の円滑な運営に資するため、職員等の住居の用に供する施設						
【想定される自然災害】							
予想震度		5弱	津波		—	浸水	—
建築規制	非線引き都市計画区域、第二種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料 (—)			
	不明 kwh	不明 m ³	不明 m ³	— 0			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地:なし 敷地内貸付地:なし						

1. 施設内建物の概況

名 称	すずらん寮	千屋ダム職員宿舎1号	千屋ダム職員宿舎2号
築年(西暦)	1993 年	1984 年	1984 年
構 造	鉄筋コンクリート造 地上3階	木造 地上1階	木造 地上1階
建築面積	125.35 m ²	61.28 m ²	61.28 m ²
延床面積	379.55 m ²	61.28 m ²	61.28 m ²
主要な用途 (室名等)	居室9室@21m ²	居室1室@61.28m ²	居室1室@61.28m ²
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備	給排水設備	給排水設備
利用状況	高	高	低
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6以前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	千屋ダム職員宿舎3号	
築年(西暦)	1984 年	
構 造	木造 地上1階	
建築面積	61.28 m ²	
延床面積	61.28 m ²	
主要な用途 (室名等)	居室1室@61.28m ²	
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備	
利用状況	高	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—
	中性化 ※3	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6以前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

予防保全を図り、施設を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
すずらん寮	・予防保全を図る。
千屋ダム職員宿舎1号	・予防保全を図る。
千屋ダム職員宿舎2号	・予防保全を図る。
千屋ダム職員宿舎3号	・予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

予防保全を図る。

(単位: 億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
すずらん寮	予防保全		予防保全									
千屋ダム職員宿舎1号	予防保全		予防保全									
千屋ダム職員宿舎2号	予防保全		予防保全									
千屋ダム職員宿舎3号	予防保全		予防保全									

4. 概算費用

--